

富士山噴火の減災に資する実験教材の開発 (R4~6)

山梨県富士山科学研究所

背景・目的

教育現場では

- 効果的な避難計画の策定や**高度な防災知識**が必須。
- 自然災害の軽減には「**主体的に行動する態度**」を育成するための**教育手法の開発**が必要。
- 教材の開発の時間やスキルの欠如。

このため

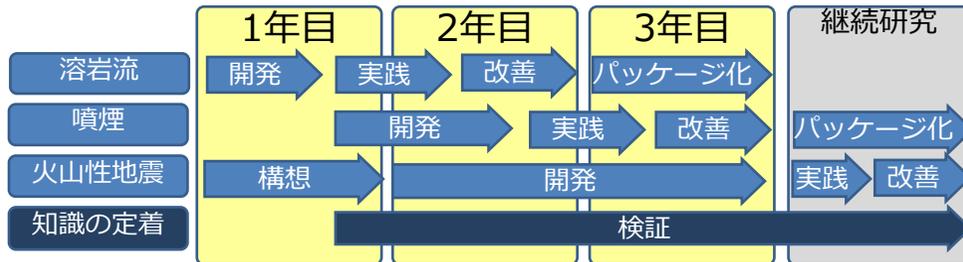
科学的知識に基づいて主体的に行動することのできる災害に強い人材育成に資する、火山災害に関する実験教材を開発

研究内容

低価格でオールインワンの実験教材を開発

実験キット、実験マニュアル、指導案、指導書、板書案、技能評価、ワークシート、評価テスト、ビデオ教材

重要事項： 教科教育とのリンク・分野横断

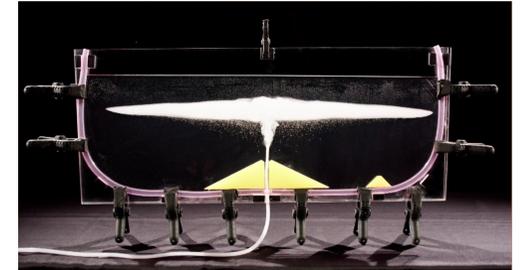


期待される成果

- **小学校5年理科**「流れる水の働き」 **6年理科**「土地のつくりと変化」、総合学習など
- **中学校1年理科**「火山」「地震」などの単元で**活用される**



立体地図とシャンプーを用いた溶岩流の再現模型

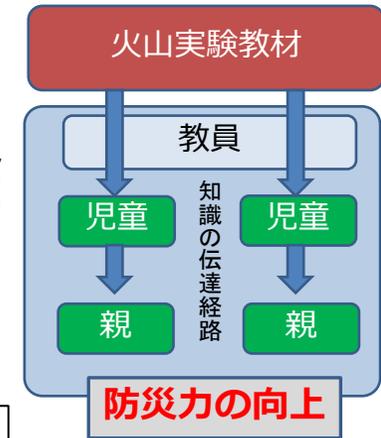


水槽と入浴剤を用いた噴煙(火山灰)の再現模型

- **児童・生徒の知識力向上**
- **教員が繰り返し教材を使用することによる知識の定着**
- **児童から親世代への知識の伝達**
- **児童はその後、大人になり親に**

**地域全体の知識力の向上
すなわち、防災力の向上**

噴火時、的確な避難が可能に



共同研究者：都留文科大学、山梨大学、東京大学、北翔大学、山梨県産業技術センター、株) アディコ

協力：山梨県教育庁、富士吉田市教育委員会、富士河口湖町教育委員会